

1. Perlman JM, Wyllie J, Kattwinkel J, Wyckoff MH, Aziz K, Guinsburg R, Kim HS, Liley HG, Mildenhall L, Simon WM, Szyld E, ○Tamura M, Velaphi S; Neonatal Resuscitation Chapter Collaborators. Part 7: Neonatal Resuscitation 2015 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science With Treatment Recommendations. *Circulation*. 2015. 132(suppl 1):s204-s2041
2. Perlman JM, Wyllie J, Kattwinkel J, Wyckoff MH, Aziz K, Guinsburg R, Kim HS, Liley HG, Mildenhall L, Simon WM, Szyld E, ○Tamura M, Velaphi S; Neonatal Resuscitation Chapter Collaborators. Part 7: Neonatal Resuscitation: 2015 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science With Treatment Recommendations (Reprint).. *Pediatrics*. 2015. 136(2):S120-S166
3. Wyllie J, Perlman JM, Kattwinkel J, Wyckoff MH, Aziz K, Guinsburg R, Kim HS, Liley HG, Mildenhall L, Simon WM, Szyld E, ○Tamura M, Velaphi S; Neonatal Resuscitation Chapter Collaborators. Part 7: Neonatal resuscitation: 2015 International Consensus on Cardiopulmonary Resuscitation and Emergency Cardiovascular Care Science with Treatment Recommendations.. *Resuscitation*. 2015. 95:e169-e201
4. Sakurai Y, ○Tamura M. PhD Efficacy of the Airway Scope (Pentax-AWS) for Training. in *Pediatric Intubation*. 2015. 57(2):217-221
5. Sakazaki S1, Masutani S, Sugimoto M, Tamura M, Kuwata S, Kurishima C, Saiki H, Iwamoto Y, Ishido H, Senzaki H. "Oxygen Supply to the Fetal Cerebral Circulation in Hypoplastic Left Heart Syndrome: A Simulation Study Based on the Theoretical Models of Fetal Circulation. *Pediatr Cardiol*.. 2015. 36(3):677-684
6. Ogawa R, Mori R, Sako M, Kageyama M, Tamura M, Namba F Drug therapies in bronchopulmonary dysplasia in Japan: questionnaire survey.. *Pediatr Int*. 2015. 57(1):189-192
7. 田村正徳（日本救急医療財団心肺蘇生法委員会），4章「新生児の救急蘇生法」．（改訂5版）救急蘇生法の指針2015（医療従事者用）へるす出版．2017.01. 166-177
8. ○田村正徳（監修），梶原厚子（著，編集），在宅医療が必要な子どものため

- の図解ケアテキスト Q&A. メディカ出版. 2016. 12.
9. 田村正徳, 新生児の蘇生—JRC 蘇生ガイドライン 2015 に基づく最新知見. 小児科 金原出版. 2016. 10. 57(11):1377-1383
10. ○田村正徳, 「まもられた小さな命を地域ではぐくむ ～乳幼児小児の在宅医療移行の現状と課題～」. 日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会 広報 日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会事務局. 2016. 10. (18):36-49
11. 森脇幸一、奈倉道明、山崎和子、高田栄子、側島久典、星順、奈須康子、小泉恵子、○田村正徳, 小児在宅医療の医療機器. 病院設備 日本病院設備協会. 2016. 09. 58(5):2016-9
12. 田村正徳, 15 「新生児・乳幼児の呼吸管理」. 第 21 回 3 学会合同呼吸療法認定士 認定講習会テキスト 3 学会合同呼吸療法認定士認定委員会事務局. 2016. 08. 385-418
13. 側島久典、○田村正徳、紅谷浩之、宮田章子、高田栄子、梶原厚子、市橋亮一, 日本在宅医療、現在の問題点. 在宅療養支援診療所医師、成人対象訪問看護師向け小児在宅医療講習会テキストブック 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団助成. 2016. 08.
14. 田村正徳, 1 「新生児心肺蘇生法」. 症例から学ぶ周産期診療ワークブック (改定第 2 版) (株)メジカルビュー社. 2016. 07. 230-236
15. 田村正徳、横尾京子, ガイドライン準拠 NICU に入院している新生児の痛みのケア実践テキスト. ガイドライン準拠 NICU に入院している新生児の痛みのケア実践テキスト メディカ出版. 2016. 05.
16. 田村正徳、監修: 細野茂春, 国際蘇生法連絡委員会の Consensus2015 から日本版ガイドライン 2015 まで. 日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく 新生児蘇生法テキスト 第 3 版 メジカルビュー社. 2016. 18-23
17. 田村正徳、金井雅代、野村雅子、内田美恵子, “日本の医療体制に適合した新生児心肺蘇生法ガイドラインの作成【体制】 予定帝王切開への NCPR (Neonatal Cardio-Pulmonary Resuscitation: 新生児蘇生法) 講習会を受けた看護師による分娩立会の安全性と課題の抽出. 「我が国に適応した神経学的予後の改善を目指した新生児蘇生法ガイドライン作成のための研究」. 2016. . 23-30”
18. 田尻達郎、臼井規朗、左合治彦、小野滋、野坂俊介、米田光宏、宗崎良太、仙尾部奇形腫. 小児期からの気象難治性消化器管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究. 2016. 323-334
19. ○田村正徳, NICU から在宅に移行する子どもたち. 重症心身障害児者等支援者育成 研修テキスト. 2016. .

220-230

20. 森脇浩一、田村正徳、側島久典、NICU 診療を支援する職種の配置の現状と効果. 地域格差是正を通じた周産期医療体制の将来ビジョン実現に向けた先行研究班平成 26-27 年度総合研究報告書. 2016. . 142-147

21. 田村正徳、側島久典、森脇浩一、難波文彦、内田恵美子、吉田達彦、當麻未奈世, 全国の総合周産期母子医療センターの新生児診療指導体制に関するアンケート調査. 地域格差是正を通じた周産期医療体制の将来ビジョン実現に向けた先行研究班平成 26-27 年度総合研究報告書. 2016. 108-113

22. 難波文彦、田村正徳、側島久典、森脇浩一、内田恵美子、吉田達彦、當麻未奈世, 総合・地域周産期センターと日本小児科学会研修指定施設における新生児医療研修の課題. . 2016. 138-141

23. 研究代表者末光茂、研究協力者○田村正徳 他, 重症心身障害児者等コーディネーター育成 研修テキスト. . 2016. 03.

24. 研究代表者 末光茂、研究協力者○田村正徳、他, 重症心身障害児者等支援者育成研修テキスト. . 2016. .

220-230

25. 田村正徳, 新生児の蘇生. 助産師基礎教育テキスト 2016 年版 第 5 巻 分娩期の診断とケア 日本看護協会出版会. 2016. 189-201

26. 櫻井淑男、田村正徳, 小児集中治療. 救急・集中治療医学レビュー

2016 救急・集中治療医学レビュー. 2016. 306-312

27. 田村 正徳, 第 4 章 新生児の蘇生. JRC 蘇生ガイドライン 2015 医学書院. 2016. 244-289

28. 細野茂春、田村正徳、和田雅樹、杉浦崇浩、草川功, 新生児蘇生法 2015 ガイドライン. 日本新生児成育医学会雑誌. 2016. 28(2):10-15

29. 奈倉道明、山崎和子、高田栄子、森脇浩一、星順、奈須康子、側島久典、○田村正徳, 埼玉県小児在宅医療連携拠点事業の取り組み. . 2016. 11-11

30. 田村正徳 ILCOR の Consensus2015 から NCPR ガイドライン 2015 まで. 周産期医学 東京医学社. 2016. 46(2):139-140

31. 森脇浩一、奈倉道明、内田美恵子、○田村正徳, 小児在宅医療における地域中核病院の役割移行支援、緊急対応についてー現状と課題ー. 小児科臨床. 2016 69:13-18

32. 森脇浩一、内田美恵子、○田村正徳, NICU 長期入院児在宅医療移行の受け入れに関する地域中核病院アンケート調査. 日本小児科学会雑誌. 2016. 120:72-76

33. ○田村正徳. 在宅医療. 小児科臨床 日本小児医事出版社. 2015. 11. 68(増刊号):2323-2330

34. 國方徹也、桜井隼人、笥紘子、本

- 田正和、川崎秀徳、○田村正徳. 我が国の新生児蘇生体制の現状と課題の分析—2005 年・2010 年のアンケート調査と比較して. 日本周産期・新生児医学会雑誌 日本周産期・新生児医学会. 2015. 3(51):947-953
35. 横尾京子、田村正徳. 合同シンポジウム「NICU の新生児の痛みを軽減するガイドライン」. 日本新生児成育医学会雑誌 日本新生児成育医学会. 2015. 27(2):10-12
36. 田村正徳. 小児の在宅医療. 月刊地位域学 公益社団法人地域医療振興協会 地域医療研究所. 2015. 29(4):265-269
37. ○田村正徳. 小児在宅医療の支援体制整備はなぜ必要か—医療費削減だけでなく、母子の社会的安全システムとしても機能する小児在宅医療. 月刊新医療 エムイー振興協会. 2015. 42(3):18-21
38. 田村 正徳. 6. 新生児の蘇生. 助産師基礎教育テキスト 2015 年版 第 5 巻 分娩期の診断とケア. 2015. 5:189-200
39. ○田村正徳、山崎和子. NICU から在宅医療への移行—特に人工呼吸器装着患者に関して—. 日在医会誌. 2015. 01. 16(2):21-25
40. ○田村正徳. NICU から始まる小児在宅医療. 日本在宅医療学会雑誌. 2014. 07. 16(1):88
41. 山田悠花子、○田村正徳、川島瞳、小泉恵子、安藤てる子, 「A 病院小児科を主科とする医療的ケア児の災害時避難場所の確認～Google マップによるマッピングの作成～」, 第 6 回日本小児在宅医療支援研究会. 2016. 09. 03. 大宮ソニックシティ
42. 吉井牧子、長谷川朝彦、○田村正徳, 「医療型障害児入所施設における具体的総合目標の設定と意識づけの試み～在宅移行支援施設としてのチームアプローチ～」, 第 6 回日本小児在宅医療支援研究会. 2016. 09. 03. 大宮ソニックシティ
43. ○田村正徳, 「NICU から始まる小児在宅医療」シンポジウム「小児在宅医療を進めるために」, 第 18 回日本在宅医学会大会. 2016. 07. 17. 東京（東京ビッグサイト）
44. 田村正徳, 『重度重複障害のある児の在宅支援—医療の立場から』, 障害児・者相談支援事業全国連絡協議会, 2016. 6. 16, 千葉（幕張メッセ）
45. 73 田村正徳, 「小児慢性特定疾病の在宅医療」難病のこども支援全国ネットワーク総会, 2016. 7. 2, 東京（飯田橋レインボービル）
46. ○田村正徳, 小児在宅医療の現状と課題と解決策の検討—埼玉県での取り組み, 第 63 回日本小児保健協会学術集会. 2016. 06. 大宮ソニックシティ
47. ○田村正徳, 新生児医療の現状と課題 NICU の整備及び NICU 勤務医師の充足度の地域格差に関する報告, 小

- 児科チェアマン会議. 2016. 05. 札幌
(ロイトン札幌)
48. ○田村正徳, 日本の周産期医療の現状と医療的ケアの必要な子どもが増えている, 特別シンポジウム”医療的ケアの必要な子どもの未来を拓きま
す!! ~子ども未来課意義と自民党の提言と”. 2016. 01. 秋葉原 (東京)
49. NHKE テレ 2016 年 7 月 13 日ハー
トネット TV シリーズ熊本地震 7. 『赤
ちゃんの “命の砦”』
50. 読売新聞 2016 年 10 月 7 日 「医
療ルネッサンス 医療的ケア児」
51. 毎日新聞 2016 年 12 月 23 日 「医
療的ケア児と保育所／上 「仕事、辞
めるしかない」
52. 朝日新聞 2017 年 1 月 16 日 「増
える医療ケア児、足りない施設
53. 田村正徳, 医療的ケア児
とは, 作業療法ジャーナル, 三輪
書店, 2019. 5, 53(5) : 436-440
54. 田村正徳, 先天性横隔膜
ヘルニアの呼吸・循環管理. 小児
看護 へるす出版. 2018. 11.
41(12) : 1519-1526
55. 田村正徳, 15 小児の呼吸
管理 1 新生児の呼吸管理. 第 23
回 3 学会合同呼吸療法認定士 認
定講習会テキスト, 3 学会合同呼
吸療法認定士認定委員会事務局.
2018. 08. 23 : 399-431
56. 田村正徳, 新生児領域 (日
本新生児成育医学会, 日本周産
期・新生児医学会, 日本新生児看
護学会) / 特集 : 小児診療ガイド
ラインの読み解き方 (各論 : 小児
関連学会 (分野) のガイドライン
への取り組み). 小児内科 東京医
学社. 2018. 05. 50(5) : 798-803
57. 田村正徳, 日本医師会小
児在宅ケア検討委員会における討
論状況について. 「2017 年度在宅
医療推進のための会」報告書 公益
財団法人 在宅医療助成 勇美記
念財団. 2018. 03. 147150
58. 田村正徳, 地域包括ケア
システムにおける子どもと家族へ
の支援の取り組み. 保健の科学
杏林書院. 2018. 01. 60(1) : 32-35
59. 田村正徳, 仁志田博司,
福原里恵, 重篤な疾患を持つ新生
児の家族と医療スタッフの話し合
いのガイドライン—作成の経緯と
課題を含めての紹介—. 小児外科
東京医学社. 2017. 08.
49(8) : 841-844
60. 川瀬昭彦, 岩田欧介, 近
藤裕一, 岩井正憲, 深淵浩, 高橋
大二郎, 前出喜信, 平川英司, 落
合正行, 高柳俊光, 久野正, 七種
護, 大木茂, 田村正憲, 楠田聡,
和田和子, 熊本地震からの教訓 :
大規模総合周産期母子医療センタ
ーの機能改質と入院児の緊急避難.
日本小児科学会雑誌.
2017. 06. 121(6) : 1067-1074
61. 委員長 : 福原里恵, 委員 :
饗場智, 網塚貴介, 飯田浩一, 大
城誠, 加部一彦, 久保実, 白石淳,
田村正徳, 飛驒麻里子, 船戸正久,
和田和子, 和田浩, 重篤な疾患を
持つ新生児の家族と医療スタッフ
の話し合いのガイドライン (話し
合いの GL) をもっと活用しやす
くなるように多職種で話し合お
う! —どうして話し合いの GL を
うまく活用することができないの
か?—. 日本新生児成育医学会雜
誌. 2017. 06. 29(2) : 52-54
62. 1~3 (3(4) 除く) 田村正
徳, 金井雅代 (3(4) 谷口由紀子),
NICU から在宅に移行する子どもた
ち. 医療的ケア児等支援者養成研
修テキスト 中央法規出版.

2017. 06. 208-220

63. 監修：田村正徳，監修：医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト。医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト 中央法規出版。2017. 06. 0-0

64. 田村正徳，総論 I 小児在宅医療人工呼吸療法マニュアルが必要とされる背景。小児在宅人工呼吸療法マニュアル第 1 版 日本呼吸療法医学会。2017. 05. 1-9

65. 田村正徳，過去の大規模災害からまなぶことー新生児医療。周産期医学。(株)東京医学社。2017. 03. 47(3):337-340

66. 田村正徳，熊本震災に対する学会支援活動の末端に関わって。赤ちゃん成育ネットワーク会報。2017. 03. (19):21-28

療』2016 年 6 月号 Vol. 1 No. 6 (P. 514-518)，へるす出版，2016

6. ○前田浩利，「小児在宅の対象；重症心身障害児、超重症心身障害児、医療的ケア児」，『0-100 在宅診療』2016 年 2 月号 Vol. 1 No. 2 (P. 157-161)，へるす出版，2016

7. ○前田浩利，「序文「小児在宅医療のエッセンスー必要な知識・技術から緩和ケアまでー」，『0-100 在宅診療』2016 年 2 月号 Vol. 1 No. 2 (P. 155)，へるす出版，2016

8. ○前田浩利，「対象となる子どもの特徴」，『0-100 在宅診療』2016 年 2 月号 Vol. 1 No. 2 (P. 163-167)，へるす出版，2016

9. ○前田浩利，「緩和ケア」，『0-100 在宅診療』2016 年 2 月号 Vol. 1 No. 2 (P. 245-249)，へるす出版，2016

10. 前田浩利，対談「在宅医、人を、子どもを、家族を、地域を支えるジェネラリスト」，『0-100 在宅診療』2016 年 1 月号 Vol. 1 No. 1 (P. 14-21)，へるす出版，2016

11. ○前田浩利，「在宅療養支援診療医の立場からみた現状と課題」，『小児科臨床』2016 年 1 月号 Vol. 69 No. 1 (P. 7-12)，日本小児医事出版社，2016

12. 編集：○前田浩利、小児・重症児者の訪問看護、中央法規出版、2015. 09.

前田浩利

1. ○前田浩利 (監修)：病気をもつ子どもと家族のための「おうちで暮らすガイドブック」Q&A，メディカ出版，2016. 12

2. ○前田浩利 戸谷剛：総説「小児がんの在宅緩和ケア」：『日本小児血液・がん学会雑誌』53 巻 5 号 2016

3. ○前田浩利 編集アドバイザー：『0-100 在宅診療』へるす出版 2016

4. ○前田浩利，「初めて子どもの在宅医療を始める医師や看護師の皆さんへ」，『0-100 在宅診療』2016 年 6 月号 Vol. 1 No. 6 (P. 491)，へるす出版，2016

5. ○前田浩利 沖本由理，「脳腫瘍の子どもの在宅ケア」，『0-100 在宅診

13. ○前田浩利、福祉との連携、今日の小児治療指針』 第 16 版. 医学書院、2015. 09. 930-931
14. ○前田浩利、在宅での看取り、今日の小児治療指針』 第 16 版、医学書院、2015. 09. 940
15. ○前田浩利、悪性腫瘍の緩和ケア、重症心身障害児・者 診療・看護ケア実践マニュアル、診断と治療社、2014. 12、223-225
16. ○前田浩利、その他の疾患の緩和ケア、重症心身障害児・者 診療・看護ケア実践マニュアル、診断と治療社、2014. 12、223-225
17. ○前田浩利、在宅医療 Q & A、じほう、2015. 8
18. ○前田浩利、他、【コラム】NICU と在宅医療、テキスト肢体不自由教育—子ども理解と教育実践、全国障害者問題研究会、2014. 06. 44-46
19. ○前田浩利（企画協力）、とても大切な人が がんになったときに開く本、青海社. 2014. 06
20. 長島史明、梶原厚子、○前田浩利、「小児在宅支援を担う看護師に対するリハビリテーション研修の紹介～事前・事後アンケート結果からみえた校歌と課題～」、第 6 回日本小児在宅医療支援研究会. 2016. 09. 03. 大宮ソニックシティ
21. 梶原厚子、○前田浩利、「熊本の災害に学ぶための実態調査について」、第 6 回日本小児在宅医療支援研究会. 2016. 09. 03. 大宮ソニックシティ
22. 田中総一郎、○前田浩利、梶原厚子、「災害時における多職種協働」、第 6 回日本小児在宅医療支援研究会. 2016. 09. 03. 大宮ソニックシティ
23. ○前田浩利、戸谷剛、「小児の在宅緩和ケアの対象となる疾患の分析」、第 21 回日本緩和医療学会 2016. 6. 17. 京都市
24. ○前田浩利、「小児在宅医療を支える医療技術とその課題」、第 18 回日本在宅医学会、2016. 7. 17, 東京ビッグサイト
25. ○前田浩利、「在宅医療の現場から重症児者の地域包括ケア」、第 119 回日本小児科学会 2016. 5. 15, (札幌市)
26. ○前田浩利、「在宅における子どもの看取り」、第 52 回日本小児循環器学会、2016. 7. 7, (東京)
27. 法的背景を得た小児在宅医療の今・未来」(講演)【2018 年 9 月 6 日、「第 16 回 日本臨床医療福祉学会」(東京、国立オリンピック記念青少年総合センター)】
28. 「在宅における小児の end-of-life care 支援」(講演)【2018 年 9 月 29 日「第 8 回 日本小児在宅医療支援研究会」(兵庫県、神戸市国際会議場)】
29. 「医療的ケア児支援の現状と課題」(講演)【2018 年 10 月 27 日、「平成 30 年度 小児等在

宅移行研修事業 多職種合同研修」、
東京、TKP 東京駅大手町カンファ
レンスセンター】

30. 「医療的ケアを要する子
どもの在宅・家族の支援」(講義)
【2018 年 12 月 17 日、東京大学】

31. セッション:「医療的ケア
を必要とする人『暮らし』を支え
る仕組みを考える」にパネリスト
として登壇【2019 年 2 月 9 日「ア
メニティーフォーラム 23」、(滋賀
県大津市)】

岩崎裕治

1. ○岩崎裕治、堀江久子、木原肖子、
齊木弘、山本雅章 東京都における重
症心身障害者のグループホーム調査
日本重症心身障害学会誌;41:347-356,
2016
2. ○岩崎裕治、北住映二、福岡寿、
安藤真知子、谷口由紀子、田村正徳、
村下志保子、等々力寿純、藤野孝子、
堀江久子、重症心身障害児者等の祖団
支援専門員およびコーディネーターの
人材育成プログラムの開発, “重症心身
障害児者の支援者・コーディネーター
育成研修プログラムと普及に関する研
究 平成 27 年度 総括・分担研究報告
書 3-26, 2015
3. ○岩崎裕治. 「重症心身障害に対
する医療・支援の現状」小児保健研究
73: 240-242. 2014

4. ○岩崎裕治、山本雅章、斎木博、
木原肖子、堀江久子. , 「重症心身障害
児者得に「準・超重症児」に即したグ
ループホーム等のあり方に関する調査
研究」 「障害支援区分」下での在宅重
症心身障害者の日中活動と、短期入所
ならびにグループホームのあり方に関
する総合的な研究. 公益財団法人 在
宅医療助成 勇美記念財団 研究報告
書, 69-85. 2014

5. 田代恵野、○岩崎裕治, “慢性期の
超重症児 NICU 最前線 日常のギモン
を徹底解説!なぜ?から分かる体温管
理の「べからず」”, ネオネイタルケ
ア ;27:784-788, 2014

6. 山本晃子、岩崎裕治、北住映二、
口分田政夫、西藤武美 月経前緊張症
候群など女性ホルモン周期に関連した
問題, 重症心身障害児・者診療・看護
ケア実践マニュアル, 180-182, 診断と
治療社, 2014

7. 酒井朋子、岩崎裕治、北住映二、
口分田政夫、西藤武美 骨折の原因と
しての骨粗しょう症、骨折予防のため
の薬物療法, 重症心身障害児・者診療・
看護ケア実践マニュアル, 197-199, 診
断と治療社, 2014

8. Y Iwasaki, T Miyanomae
et al. The Current Situation of
the Short- Stay Service for
People with Intensive Medical

平成 28 年～平成 30 年度 医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携促進に関する研究

Care in Japan.

Bangkok, Thailand, 2017, 13-16th,

November

2017 IASSIDD 4th Asia-Pacific

Regional Congress.

H 知的財産権の出願・登録状況

なし